



バス事業、タクシー事業、運送業、スーパー事業などを展開する**両備ホールディングス株式会社**。「たま駅長」で全国的にも有名な和歌山電鉄株式会社も両備グループです。この礎は1910年に設立された西大寺鉄道で、創業100年を超えた老舗企業であるだけでなく、知名度の高い企業です。事業展開が多岐に亘っており、多様なタイプの雇用が存在し、「働き方改革」の実現に当たっては乗り越えるべきポイントがあると思われます。グループ従業員が9,000人を超える岡山県の老舗リーディング企業に「働き方改革」についてうかがいました。

時間外労働

■ 時間外労働の削減については、重要な課題と受け止めて策を講じている。例えば、「長時間労働は良くない」旨をトップから発信するとともに、時差出勤・変形労働時間制の活用など、個々の仕事の状況に合わせた柔軟な労働時間の設定ができているようにしている。

有給休暇

■ 年休の消化率を上げることには苦慮している。自動車運転手は、業界全体、極端に人手が不足している。年休を取れば、それだけ稼働が落ちることになり、減収、業績の悪化、さらには賃金の減少といった負の連鎖も考えられる。そうすると、歩合や出来高をベースとした賃金の仕組みは、成り立たなくなる。賃金制度の変革が課題となっている。また、仕事の方式も変えていかなければならない。低賃金を誘発するサービスの値崩れが起きないように、顧客の協力などが必要であり、業界全体で取り組むべきことがある。

ダイバーシティ・マネジメント

■ **ダイバーシティ推進チーム**は、「働き方改革」として、1日8時間働けない環境、ライフスタイルの人、具体的には育児と介護を抱えている人が選択できる短時間勤務制度「フレキシブルワーク・プラン制度」を考え、2017年4月からスタートさせた。育児時の対象は、妊娠期から子供の小学校卒業まで。具体的には、残業の免除、時差出勤のほか、週4日勤務、1日最大2時間短縮など社会保険加入範囲での選択制となっている。介護は、家族1人について通算10年短時間勤務が可能。時間に融通を利かせながら、できるだけ辞めずに働いてもらうことが狙い。導入前の十分な啓もう活動、検討期間において作った制度なので、管理職の現状認識が十分であり、利用者所属部署から否定的な意見はない。この制度を浸透させるため、「育児・介護のための両立支援ガイドブック」を作成し、全社員に配付した。また、育児、介護の応援セミナーも実施し、興味がある者だけでなく管理職への啓もうを行っている。現在の対象は正社員のみ。

ダイバーシティ推進チーム

(2016年11月発足)
両備グループの違う会社や部署に所属している7名で構成され、グループ全社をあげて取り組んでいる。

(ミッション)

- 多様な働き方を実現するための制度、環境整備
- 性別、年代、国籍を限定しない人財の雇用と活用を実現するための施策の検討、提案

商号 : 両備ホールディングス株式会社
 創立 : 明治43年7月31日
 資本金 : 4億円
 代表者 : 代表取締役会長 小嶋 光信
 : 代表取締役社長 松田 久
 従業員数 : 約2,500名
 本社所在地 : 岡山市北区錦町6番1号

← 労働局長 (左) と山田人財本部
 常務執行役員 本部長

■ 多様な働き方を標ぼうされている両備ホールディングスは、「子育てサポート企業」として**くるみん認定**を受け、育児・介護において先進的な取組をされています。一方、労働時間短縮に関しては、長時間労働が多いとされる運送事業が中心の企業であり、長時間労働の改善に向けて模索されています。全国的に知名度の高いリーディング企業の今後の取組に注目していきたいと思ひます。